昭和十九年度台湾農業會主催
市郡街庄農業技術員講習會

害蟲防除法講義要項

台湾總督府農業試驗所
應用動物科長
技師 農學博士 三輪勇四郎

應用動物科

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

害蟲防除法講議目次

一　增產ト害蟲防除
二　害蟲ト益蟲
三　害蟲ノ發現
四　害蟲蕃殖ノ條件
五　害蟲防除法ノ種類
六　害蟲防除訓
七　台灣害蟲驅除豫防規則
八　台灣害蟲驅除豫防規則施行規則
九　害蟲ノ種類及驅除豫防法

臺灣省農業試驗所圖書室 應用動物系
應用動物科
農業部農業試驗所典藏
由國家圖書館數位化

一、増産ト害蟲防除

農作物ノ増産確保ニ害蟲防除ノ必要缺ク可ラザル事ハ言フ迄モナイ。本島ノ産米ハ連年平均極ク内輪ニ見積ツテモ其ノ約一三%ハ害蟲ノ被害ニ依ル消失ト考ヘラレル。唯ニ稲ト言ハズ甘藷デモ蔬菜デモ蟲害ノ防除ヲ度外視スレバ、出來得可キ生産ノ幾割カハ既ニ害蟲ノ餌食トナリ、苦心ノ結晶モ實ハ害蟲ノ喰ヒ残シト言ツテモ過言デハナカラウ。各種農産物ノ確保ニ種々積極的増殖ノ道ガ講ゼラレテ井ルガ時局下金肥ノ需給ハ相當窮窟デアリ、勞力資材モ可成リ制限ヲ享ケ然モ單位面積ノ増收ヲ計ラントシツヽアル今日害蟲防除ノ適確ナル實施ハ増産上緊急且ツ肝要ナル事項デナケレバナラヌ。既ニ明治四十一年ニ台湾害蟲驅除豫防規則並ニ台湾害蟲驅除豫防規則施行規則ガ發セラレ又

害蟲驅除豫防ニ關スル巡視員ガ各州廳ニ常置セラレテヰル・斯ル法規ノ遵守ト係員ノ運營ニ依リ害蟲驅除豫防ノ事績ハ著シク擧リツヽアル事ハ信ジテ疑ハヌ處デアルガ現今增產上特ニ其ノ指導督勵ヲ要望セラレテヰル如ク、直接田畑ニ立ツ個人ノ先端ニ迄害蟲ノ何タルカヲヨク認識セシメ之ガ防除ノ不可缺ヲ滲透セシメル事ハ實ニ容易ナラヌ事柄デアル。然乍ラ緊迫セル情勢下ニ於テハ手段ノ難易ハ論外トシテ專心事ニ當ル決意ト努力ヲ要請セラレテヰルノデアル・

元來此ノ種類ノ事業ノ成功ト言フモノハ主トシテ地方當局者ノ功勞ニ俟ツモノデアッテ特ニ本島農民ニハ其ノ大部分ニ於テ往時ハ害蟲驅除豫防ノ慣行モ無ク思想モ無カツタ多クハ官ノ指示垂範ニ依リ學校生徒・兒童・青年團員等ノ動員ヲ以テ防除ノ實

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

效ヲ收メ得タノデアルガ言フ迄モ無ク防除ノ最良法ハ早期防遏デアッテ先ヅ個人、保甲民ヲシテ發生ノ初期ニ於テ電擊的處理ヲナサシメ被害ヲ小区域ニ止メシメル事デアル。從ツテ防除ノ方法ハ成ル可ク簡易ヲ旨トスルハ勿論、害蟲ノ性質ヲ熟知セシメ上ハ監督者其人ヨリ下ハ個人ニ至ル迄害蟲驅除豫防ノ何タルカヲ會得スル事ガ先ヅ以テ重要適切ナル事項デアラウ。「南風ガ吹イテ螟蟲ガ偶發シタ」等ノ考ヘ方ハ荒唐無稽ナ迷想デアル事ヲ充分農民ニ知ラシメナケレバナラヌ。

増産ノ第一線ニ於テ職域ヲ守ラルル諸君ハ此ノ意味ヲ充分諒解シテ實踐指導シ刻下ノ使命ヲ果サレン事ヲ切望スル。

二、害蟲ト益蟲

昆蟲ヲ指シテ害蟲、益蟲ト言フハ要スルニ等シク生物社會ニ於

員デアル處ノ人間カラ四圍ノ昆蟲ヲ見渡シ、其ノ間ノ利害関係ヲ基トシテ昆蟲ヲ分ツタ名稱ニスギナイ、從ツテ其ノ益ト言ヒ害ト言フノモ要スルニ人ノ造ツタ標準デアル、人ヲ基礎トシテ考ヘデアツテ見レバ其處ニ或ル一定ノ自然律ガアル訳デハ無イ。我々ハ人ト昆蟲ノ関係ヲ研究シテ其ノ眞ノ意味ヲ明カニシ用ヒル可キモノヲ用ヒ有害ナルモノヲ抑壓シテ行カナケレバナラナイ

我々ハ害益蟲ヲ普通次ノ如ク分ツテ取扱ツテ井ル

害蟲、
- イ、直接害蟲 — 直接人体ニ危害ヲ及ボス昆蟲デ學問上之ヲ衛生昆蟲或ハ醫用昆蟲ノ名稱デ取扱ツテ井ル。
- ロ、間接害蟲 — 吾人ノ衣食住ノ資ニ危害ヲ及ボス昆蟲デ農業害蟲、林業害蟲、家畜害蟲、貯穀害蟲、屋内

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

害蟲等ガ之ニ入ル。

益蟲

イ、有用蟲
- 昆蟲自体乃至ハ其ノ生產物ガ直接人類社會ニ利用セラレルモノデ食用昆蟲、藥用昆蟲、絹絲昆蟲、脂蠟昆蟲、單寧昆蟲等ガアル

ロ、有益蟲
- 害蟲、雜草等ヲ驅除シ間接ニ吾人ヲ利スル昆蟲デ寄性昆蟲、食肉性昆蟲、雜草ヲ食餌トスル昆蟲等之ニ入ル。

三 害蟲ノ發現

(一) 加害種ノ發現

有用植物ニ發生スル害蟲ヲ其ノ起源ヨリ三大別スルト次ノ如クニナル。

(イ) 歷史的ニ其ノ植物ト因緣ノアッタモノ即、其ノ植物ガ原

産地デ尚野生ノ状態ニアッタ時カラ関係ノ深カッタモノデ現在ノ稲作害蟲ノ大部分ノモノハ之ニ属スル。

(ロ) 其ノ植物ガ栽培セラルル様ニナッテカラ後ニ近縁ノ野生植物カラ移リ來タモノ、之ハ其ノ植物ガ原産地デ栽培セラレル様ニナッタ場合デモ亦他ノ地方ニ移サレ栽培セラレル様ニナッタ場合ニモ起ル。一般蔬菜害蟲等ノ多クハ之ニ属スル。

(ハ) 害蟲ガ他地方ヨリ輸入セラレタモノデ、之ニハ二通リアリ、一ツハ其ノ原産地ニ於テ既ニ或ル栽培植物ト特別ナ関係ニアリ二者ガ同時ニ移入セラレタ場合ト　別ニ害蟲ガ輸入セラレテ後ニ既ニ其ノ土地ニ土着シテヰタ種々ノ植物ヲ食フ様ニナッタモノデ台湾ニ入殖シタコワタフキカヒガラ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

ムシ」ヤ「バセウザウムシ」等ハ之ニ屬ス。

(二) 加害度

植物ハ動物ト異リ不用ノ機関ヲ多ク持ッテヰル。今假ニ之ノ二、三ヲ蟲ガ食シタカラト言ッテ直チニ之ヲ害蟲ト言ヒ切ッテシマフ事ハ出來ヌ、又何等利用價値ノナイ寧ロ雑草ニ等シイ樣ナ植物ヲ食餌トシテヰル場合ハナホ更デアル。斯ル意味カラ植物ヲ食スルモノ必シモ害蟲ト言フ事ハ出來ナイ。從ッテ害蟲ノ認定ニハ加害度ト言フ事ヲヨク考ヘナケレバナラヌ。

即

(イ) 昆蟲ノ食性デツマリ其ノ害蟲ノ特性デアル、即食フ部分植物体ノ生理上ニ及ボス程度、人ノ要求ニ對スル損害ノ程度、害蟲ガ其ノ植物ニ對スル嗜好ノ程度。

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

(四) 其ノ害蟲ノ喰害量デ一定ノ蟲ノ喰フ量、個体ノ數、発生回數等デ以上ノ各々ガ總テ加害度ノ認定規準ニナルノデアル。然シ一定食量ト食性ハ同一種デ大体変異ノ少ナイモノデアルガ個体數、発生回數、殊ニ個体ノ數ト言フモノハ非常ニ増減ノ差ガ甚シイ、其ノ多少ニ依ツテ被害額ニ変化ガ起ツテ來ルト言ツテヨイ。換言スレバ同一種デハ一ツ一ツノ昆蟲ノ加害度ハ常ニ餘リ差異ハ無イガ其ノ蕃殖如何ニ依ツテ個体數ニ増減ヲ來シ被害額ニ非常ナ差ガ出來テ來ル。從ツテ蕃殖ト言フ事ガ如何ナル事情デ左右サレルカト言フ事ヲヨク知ル必要ガアル。

(三) 加害度ニヨル害蟲ノ類別

加害度ニヨリ害蟲ヲ類別スルト次ノ三ニナル、

(イ) 微害蟲（注意ヲ要シナイ害蟲）
(ロ) 有害蟲（注意シナケレバナラナイ害蟲）
(ハ) 劇害蟲（劇甚ナル害蟲）

四 害蟲蕃殖ノ條件

昆蟲ノ害ノ多少ガ主トシテ數ノ問題ニ係ルトスレバ其ノ數ノ増加ハ如何ナル事情ニ原因スルカヲ明カニスル事ハ甚ダ必要デアル、之ニハ次ノ二ツノ條件ガアル。

(一) 害蟲自身ノ蕃殖率

蕃殖率ヲ計ル諸因子ハ(1)産卵數、(2)世代ノ長短、(3)雌雄數ノ比、(4)外圍ニ對スル抵抗力等デ之等ノ四條件ハ其ノ種ノ異常ナ蕃殖ヲナシ得ル可能性ヲ持ツカ持タヌカト言フ判定ノ資料トナルモノデアッテ勿論何レノ昆蟲デモ凡テ此ノ蕃殖ノ可能

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

性ハ持ッテヰルガ其ノ間自ラ多少ノ差ノアル事ヲ注意シナケレバナラナイ。而テ其ノ可能性ノ多イモノ程環境ノ事情次第デ異常ナ蕃殖ヲナシ得ルノデアル。

(二) 環境條件

蕃殖ヲ左右スル環境條件モ種々アルガ大別スレバ(1)食物ノ多少及適不適 (2)氣象其ノ他物理的化學的外圍 (3)生物的外圍等デアル。氣象條件ノ影響ハ害蟲ノ蕃殖ト甚ダ密接ナ關係ヲ持ッテヰルノデアル氣象的外圍ガ害蟲ニ及ボス生理的影響ニ就キ充分ナル知識ヲ得ナケレバ害蟲蕃殖ノ原因ヲ闡明スル事モ亦困難デアル又昆蟲ノ最モ恐ル可キ敵ハ生物的外圍デアル事モ留意ス可キデアラウ。

五 害蟲防除法ノ種類

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

(一) 農業的防除法（耕地、犂入、壓殺、灌漑、温床）

(二) 人工的防除法（燈火、燒殺、誘殺、補殺、陽乾）

(三) 化學的防除法（殺蟲劑、驅蟲劑、誘引劑）

(四) 物理的防除法（電殺、熱殺、音殺、光線殺蟲）

(五) 生物的防除法（寄生昆蟲、寄生菌、食蟲動物）

六 害蟲防除訓

(一) 害蟲ノ性質ヲ熟知ス可シ

害蟲ノ防除ニ當リ先ヅ害蟲自体ノ性質即チ其ノ発生経過及ビ習性ヲ熟知セザル可ラズ、之ヲ知ル事ニ依リ防除ノ適期ヲ知リ以テ效果ノ萬全ヲ期シ得可ク之ヲ知ラズシテ防除ハ行ハル可キモノニ非ズ、害蟲ノ経過習性ヲ知ラバ如何ナル時期ニ防除シ得ルカノ豫察ヲナシ得ルノミナラズ既ニ発生セル害蟲ニ

[illegible]

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

對シ駆除ノ效果ヲ擧ゲ得可キモノナリ。

(二)、発生程度ノ測定ニ細心ノ注意ヲ拂フ可シ

害蟲ノ発生ハ氣象、狀態、天敵ノ有無、食物ノ多少及適不適其ノ他ノ條件ニ依ッテ増減ス、即チ発生ニ都合ヨキ條件多ク之ヲ防止ス可キ條件ノ少キ場合ニハ屢々大発生ヲ為ス、依テ右ノ如キ環境諸條件ニ細心ノ注意ヲ怠ラズ大発生ヲ豫察シ早期防遏ノ手段ヲ講ズ可キナリ。

(三)、被害ノ眞因ヲ探究ス可シ

害蟲ノ喰害ニハ第一次性、第二次性等アリテ現在ノ被害ガ現ニ存スル害蟲ノ直接ノ被害ニ非ザル場合少カラズ、例ヘバ耕種肥培管理ノ適法ヲ過リ正當ナル成育ヲ遂ゲ得ザル作物ガ至ハ病菌ニ犯サレ或ハ風害ニ起因シテ衰弱若シクハ枯死ニ瀕セ

ル作物ヲ好ミテ襲フ害蟲アリ之ヲ全然害蟲自身ニ依ル被害ニ歸ス場合無シトセズ實際ハ之等ノ綜合的被害ナル場合少ナカラズ仍テ其ノ第一次的ノモノナリヤ、或ハ第二次的ノモノナリヤヲ究ム可キナリ。

(四) 被害植物ノ種類ヲ熟知ス可シ

共通被害作物ノ同一區域ニ存スル時一方ノミノ防除ニ專念シ他ヲ看過スル駆除ノ效果少ナシ、各種作物ガ同一圃場ニ栽培セラレタル場合ハヨク其ノ害蟲ト食餌植物トノ關係ニ注意シ一方ヲシテ共通害蟲ノ潜伏所或ハ發生地タラシメザル様注意スルヲ要ス。

(五) 経済上ノ得失ヲ考慮ス可シ

如何ニ有效ナル防除方法ト雖モ経済的ニ損失ヲ來ス時ハ該方法ハ[illegible]

法ノ益無キハ言ヲ俟タズ、即チ防除ニ要スル資材ガ豊富ニシテ且ツ手近カニ得ラレ然カモ價格低廉且ツ施行ニ當リ其ノ操作ハ簡單ニシテ萬人等シク容易ニ之ヲ行ヒ得ルモノニシテ效果ノ大ナルモノヲ萬全トス。

(六) 周到綿密ナル計畫ヲ樹テ效果ノ徹底ヲ期ス可シ

防除施行ニ際シ監督ノ任ニ當ルモノハ理論上有利ナルモ實行困難ナル計畫ヲ為シ若シクハ實行ヲ強ユルカ如キ事アル可ラズ 斯ル場合ハ表面上如何ニモ驅除ノ方法ガ勵行セラレタル如ク見ユルモ實際ハ頗ル不徹底ナル場合多ク效果少キ例多シ

(七) 隣保共同シテ防除作業ニ從事ス可シ

害蟲ノ種類ガ移動性ニ富ムモノニアリテハ之ヲ驅除スルニ隣保共同シテ其ノ作業ニ當ルヲ肝要トス然ラザレバ一區域ノ害

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

蟲ヲ撲滅スルモ直チニ近隣ヨリノ再襲來ニ依リテ被害ヲ招致スルニ致ル。

(八) 輸移入種苗ノ嚴密ナル檢査ヲ為シ被害ノ蔓延防止ニ留意ス可シ。

害蟲ガ種苗ト共ニ新タニ輸入セラレ其ノ環境ニ適應シテ土着スル時ハ其ノ蕃殖甚シク被害ノ恐ル可キ事ハ幾多ノ實例ニ徴シテモ明カナル所ナリ、其ノ禍ヲ未然ニ防止スルニハ檢査ノ嚴密ト消毒ノ周到ナルヲ肝要トス。

七 台湾害蟲驅除豫防規則

(明治四十一年九月十九日 律令第十四號)

第一條 本令ニ於テ害蟲ト稱スルハ農作物ヲ害スル各種ノ蟲類ヲ謂フ

第二條　駆除豫防スベキ害蟲ノ種類及駆除豫防ノ方法ハ台湾総督之ヲ定ム

前項ノ種類以外ノ害蟲発生シ急速ノ處分ヲ要スルトキハ（廳長）ハ臨時駆除豫防ノ方法ヲ定メ之ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ其ノ旨ヲ台湾総督ニ具申スベシ

第三條　害蟲田畑ニ発生シタル時又ハ発生ノ虞アルトキハ（廳長）ハ豫メ期限ヲ定メ該田畑ノ耕作人ヲシテ駆除豫防ヲ行ハシムベシ、

前項ノ場合ニ於テ耕作人駆除豫防ヲ行ハザルトキハ（廳長）ハ地方費ヲ以テ之ヲ行ヒ耕作人ヨリ其ノ費用ヲ徴收スルコトヲ得

第四條　害蟲蔓延シタルトキ若ハ蔓延ノ虞アルトキ又ハ害蟲田

17-

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

畑以外ノ地ニ発生シタルトキ若ハ発生ノ虞アルトキハ（廳長）ハ管内全部又ハ一部ノ駆除豫防ヲ行フコトヲ得

前項ノ駆除豫防ノ費用ハ台湾総督ノ定ムル處ニ依リ業主、佃人又ハ管理人之ヲ負擔スベシ

第五條、駆除豫防ノ必要ヨリ生ジタル損害ニ對シ被害者ハ賠償ヲ請求スルコトヲ得ズ

第六條　業主、佃人又ハ管理人ハ官吏及其ノ指揮ヲ受クル者ノ其ノ地ニ入リ駆除豫防ニ従事スルヲ拒ムコトヲ得ズ

第七條　蟲類以外ノ動植物ト雖農作物ヲ害スルモノ又ハ害スルノ虞アルモノト認ムルトキハ台湾総督ハ本令ヲ準用スルコトヲ得

第八條　第三條第一項ノ駆除豫防ヲ行ハザル者又ハ第六條ニ違

反シタルモノハ科料又ハ拘留ニ處ス

第九條　本令ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ台湾總督之ヲ定ム

附　則

本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

注意

(一)内ノ廳ハ現在州又ハ廳

(二)内ノ廳長ハ現在州知事又ハ廳長

八　台湾害蟲駆除豫防規則施行規則

(明治四十一年十月一日 台湾總督府令第六十号)

(改正 大正六年十月府令第五十一号 大正七年九月府令第七十一号)

第一條　台湾害蟲駆除豫防規則第二條第一項ニ依リ駆除スベキ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法ハ第二條ニ依ルノ外之ヲ告示ス

第二條 〔廳長〕ハ害蟲驅除豫防上必要ト認ムルトキハ左ノ處分ヲ為スコトヲ得

一 溝渠ノ開鑿

二 農作物（種苗、果實、藁稈、刈株等ヲ含ム以下同シ）若ハ樹木、雜草ノ拔棄、燒却、埋沒

三 地域ヲ指定シ農作物若ハ樹木、雜草ノ搬出、搬入又ハ栽培ノ禁止

前項第三號ノ禁止區域ハ〔廳長〕之ヲ告示ス

第三條 耕作人ニ於テ害蟲其ノ田畑ニ發生シ又ハ發生ノ虞アルコトヲ知リタルトキハ直ニ驅除豫防ニ着手シ害蟲ノ種類着手シタル驅除豫防ノ方法及被害見積面積ヲ口頭若ハ書面ヲ以テ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

所轄警察官ニ届出スベシ警察官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ直ニ現場ニ臨検シ其ノ状況ヲ(廳長)ニ報告スベシ

第四條　害蟲発生シ若ハ発生ノ虞アルトキ又ハ蔓延シ若ハ蔓延ノ虞アルトキハ(廳長)ハ其ノ都度台湾總督ニ急報スベシ台湾害蟲驅除豫防規則第七條ノ動植物ヲ発見シタルトキ亦同ジ

第五條　台湾害蟲驅除豫防規則第四條第二項ニ依ル費用ハ業主及個人之ヲ負擔シ其ノ土地ガ國庫ニ属スルトキハ個人之ヲ負擔ス但シ業主ガ管理人ヲ置キタルトキハ業主ノ負擔スベキ費用ハ其ノ管理人之ヲ負擔ス

第六條　台湾害蟲驅除豫防規則第三條第二項及第四條第二項ニ依ル驅除豫防ノ費用徴收ニ関シテハ台湾地方税徴收ノ規定ヲ準用ス

台湾害蟲驅除豫防規則第四條第二項ニ依ル費用ノ徴收ヲ為サムトスルトキハ（廳長）ハ左ノ事項ヲ具シ台湾總督ノ認可ヲ受クベシ

一 徴收ノ方法
二 徴收スベキ金額
三 負擔ノ割合
四 徴收ノ時期
五 驅除豫防計畫書
六 負擔民力ノ関係

第七條 害蟲発生シ隣接（廳）ニ蔓延ノ虞アルトキハ（廳長）其ノ旨関係（廳長）ニ急報スベシ

第八條 害蟲ニ（廳）以上ニ跨リ蔓延シタルトキ若ハ蔓延ノ虞

アルトキハ関係（廳長）ハ駆除豫防ノ方法及施行區域ヲ協定シ駆除豫防ヲ行フベシ

第九條　（廳長）ハ台湾害蟲駆除豫防規則第三條第四條及本令第八條ノ駆除豫防ノ着手終了ヲ其ノ都度別記様式ニ依リ台湾總督ニ報告スベシ

第十條　台湾害蟲駆除豫防規則第七條ノ動植物発生シ急速ノ處分ヲ要スルトキハ台湾害蟲駆除豫防規則第三條第二項ノ規定ヲ準用ス

第十一條　第三條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス

附　則

本令ハ発布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

（様式）

害蟲驅除豫防報告書

害蟲名稱	被害作物名	被害（堡里街庄社）名	発生又ハ発見月日	被害見積面積	驅除豫防着手又ハ終了月日	被害状況

右及報告候也

年　月　日

（　廳長）　　名

臺灣總督宛

注意

（一）内ノ廳ハ現在州又ハ廳

（二）内ノ廳長ハ現在州知事又ハ廳長

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

九、害蟲ノ種類及驅除豫防法

（明治四十一年十月一日台湾總督府告示第百十四号）

改正
明治四十三年告示第六号
大正六年一月告示第七号
大正七年九月告示第百二十号
大正九年十月告示第百六十七号
大正十年六月告示第九十七号
大正十二年九月告示第百六十二号
昭和八年十二月告示第百七十五号
昭和十一年七月告示第百十七号
昭和十四年十月告示第三百六十九号
昭和十六年六月告示第四百五十二号

台湾害蟲驅除豫防規則施行規則第一條ニ依リ驅除スベキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法左ノ通相定ム

第一 稻

一、害蟲ノ種類

一 イツテン螟蟲（イツテンオホメイガ、三化螟蟲）

被害作物 稻

二 二化螟蟲（メイガ）

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

被害作物　稲

三　鐵甲亀蟲（イネトゲトゲ）

被害作物　稲

四　泥負蟲（ドロハムシ、トロコ、ドロムシ）

被害作物　稲

五　浮塵子（ウンカ）

被害作物　稲

六　苞蟲（セセリテフ、ツトムシ）

被害作物　稲

七　稲小螟蛉（フタオビコヤガ、イネノコアヲムシ）

被害作物　稲

八　稲縦葉捲蟲（コブノメイガ）

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

被害作物　稲

九　稲象鼻蟲（イネザウムシ）

被害作物　稲

十　台湾夜盗蟲（コアヲヨトウ）

被害作物　稲

十一　蕃薯螟蟲（サツマイモメイガ）

被害作物　甘藷

十二　柑橘介殼蟲（ミカンカイガラムシ）

被害作物　柑橘

十三　鐵砲蟲（ゴマダラカミキリ）

被害作物　柑橘

十四　桑鐵砲蟲（クハカミキリ）

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

被害作物　柑橘

十五　稲熱病（イネノイモチ）

被害作物　稲

十六　黄色螟蟲（カンシヨノシンクヒハマキ）

被害作物　甘蔗

十七　二點螟蟲（ウスグロメイガ）

被害作物　甘蔗

十八　條螟蟲（スヂメイガ）

被害作物　甘蔗

十九　蔗龜（クロマルコガネ）

被害作物　甘蔗

二十　綿蚜蟲（カンシヨワタムシ）

被害作物　甘蔗

二十一　甘蔗赤腐病（アカクサリ）

被害作物　甘蔗

二十二　甘蔗外皮病（カンショグワイヒビヤウ）

被害作物　甘蔗

二十三　甘蔗稍頭部腐敗病

被害作物　甘蔗

二十四　甘蔗黒穂病（クロボ）

被害作物　甘蔗

二十五　甘蔗露菌病（カンショツユカビ）

二十六　柑橘象皮病（ミカンゾウヒビヤウ）

二十七　柑橘小実蠅（ミカンコミバイ）

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

二十八　綿吹介殻蟲（ワタフキカイガラムシ）

二十九　芎蕉象鼻蟲（ハセウザウムシ）

三十　甘蔗簓病（カンシヨササラビヤウ）

三十一　台湾飛蝗（タイワンバッタ）

被害作物　甘蔗、稲、其他

三十二　殿様飛蝗（トノサマバッタ）

被害作物　甘蔗、稲、其他

三十三　背條土螽（セスヂツチイナゴ）

被害作物　甘蔗、落花生、其他

三十四　稲夜盗（イネヨタウ、紫螟蟲、大螟蟲）

被害作物　稲、甘蔗

三十五　稲ノ椿象類（イネノカメムシ類）

被害作物　稲

三十六　擬蛾象鼻蟲（アリモドキザウムシ）
被害作物　甘藷

三十七　茶角盲椿象（チヤノツノメクラガメ）
被害作物　茶

三十八　瓜実蠅（ウリミバヘ）
被害作物　瓜

三十九　稲馬鹿苗病（イネノバカナヘビヤウ）
被害作物　稲

四十　西瓜炭疽病（スイカタンソビヤウ）
被害作物　西瓜

四十一　西瓜蒂腐病（スイカヘタクサレ）

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

被害作物　西瓜

四十二　珈琲銹病（コーヒーサビビヤウ）

被害作物　珈琲

四十三　ナンバンギセル

被害作物　甘蔗

四十四　鳳梨ノ介殼蟲類（パインアップルノカヒガラムシ類）

被害作

四十五　甘藷黒斑病（カンショコクハンビヤウ）

第三　駆除豫防ノ方法

一　イッテン螟蟲

イ　卵塊ハ採集シテ燒却又ハ潰殺スベシ

ロ　成蟲ハ誘蛾燈ヲ以テ誘殺シ又ハ捕蟲網ヲ用ヒテ捕殺ス

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

ベシ、

ハ 枯葉、心枯及枯穗ハ抜キ取リ焼却スベシ

ニ 被害刈株ハ掘起シ焼却又ハ埋没スベシ

二 二化螟蟲

駆除豫防ノ方法ハ「イッテン螟蟲」ニ同ジ

三 鐵甲龜蟲

イ 被害葉ハ刈リ取リ焼却又ハ土中ニ埋没スベシ

ロ 成蟲ハ捕蟲器ヲ以テ捕殺スベシ

ハ 畦畔及附近ノ雑草ハ刈リ取リ焼却スベシ

四 泥負蟲

イ 幼蟲及成蟲ハ石油ヲ滴下シ拂ヒ落シ又ハ捕蟲器ヲ以テ捕殺スベシ

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

ロ　被害甚ダシキ莖葉ハ刈リ取リ燒却スベシ

ハ　畦畔附近ノ雜草ハ刈リ取リ燒却スベシ

五　浮塵子

イ　幼蟲及成蟲ハ石油ヲ滴下シ拂ヒ落シ又ハ捕蟲器ヲ用ヒテ捕殺スベシ

ロ　畦畔及附近ノ雜草ハ刈リ取リ燒却スベシ

六　苞蟲

イ　幼蟲ハ竹櫛（亀仔撒）ヲ以テ捕殺スベシ

七　稻小螟蛉

イ　成蟲ハ誘蛾燈ヲ以テ誘殺シ又ハ捕蟲網ヲ用ヒテ捕殺スベシ

八　稻縱葉捲蟲

駆除豫防ノ方法ハ稲小螟蛉ニ同ジ

九　稲象鼻蟲

イ　成蟲ハ捕蟲網ヲ以テ捕殺シ又ハ石油ヲ滴下シ掃ヒ落スベシ

ロ　根部ニ附着セル幼蟲ハ捕殺スベシ

ハ　畦畔及附近ノ雑草ハ刈リ取リ焼却スベシ

十　台湾夜盗蟲

イ　幼蟲ハ捕蟲器ヲ以テ捕殺スベシ

ロ　卵塊ハ採集シテ遺殺スベシ

ハ　溝渠ヲ開鑿シテ遮断スベシ

十一　蕃薯螟蟲

イ　被害茎及根ハ焼却スベシ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

十二 柑橘介殻蟲

イ 青酸瓦斯、石油乳剤、松脂合剤若ハ硫黄合剤駆除ヲ行フベシ

ロ 被害甚ダシキモノハ伐採焼却スベシ

十三 鐵砲蟲

イ 成蟲ハ補殺スベシ

ロ 幼蟲ハ刺殺スベシ

ハ 卵子ハ潰殺スベシ

十四 桑鐵砲蟲

駆除豫防ノ方法ハ鐵砲蟲ニ同ジ

十五 稲熱病

イ 種籾ハ消毒ヲ為スベシ

ロ 被害甚シキ病稲ハ刈リ取リ若ハ抜キ取リ焼却スベシ

ハ 被害稲藁ハ焼却埋没若ハ堆肥トシテ腐熟セシムベシ

十六 黄色螟蟲

イ 卵塊ハ採集シテ潰殺スベシ

ロ 成蟲ハ捕殺スベシ

ハ 心枯又ハ枯葉アル葉茎ハ切リ取リ焼却スベシ

ニ 被害甚ダシキ蔗園ハ収穫後残留セル茎葉及刈株ヲ焼却スベシ

ホ 蔗苗切出ノ際ニ生ジタル残屑ハ焼却又ハ埋没スベシ

ヘ 蔗苗ハ被害ナキモノヲ選擇スベシ

十七 二點螟蟲

駆除豫防ノ方法ハ黄色螟蟲ニ同ジ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

十八、條螟蟲

驅除豫防ノ方法ハ黄色螟蟲ニ同ジ

十九、蔗龜

イ　幼蟲及成績ハ捕殺スベシ

二十、綿蚜蟲

イ　被害葉ハ切リ取リ燒却スベシ

ロ　被害園ノ甘蔗ハ苗トナスベカラズ

二十一、甘蔗赤腐病

イ　病莖ハ切リ取リ燒却スベシ

ロ　被害甚ダシキ蔗園ハ株出ヲ為スベカラズ

二十二、甘蔗外皮病

驅除豫防ノ方法ハ甘蔗赤腐病ニ同ジ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

二十三 甘蔗梢頭部腐敗部
駆除豫防ノ方法ハ甘蔗赤腐病ニ同ジ

二十四 甘蔗黒穂病
イ 被害株ハ掘リ取リ焼却スベシ
ロ 被害株掘取跡地ニハ補植ヲ為スベカラズ
ハ 被害蔗園ハ株出ヲ為スベカラズ
ニ 被害劇甚ナル蔗園ニ接近セル場所ニ於テ蔗苗ノ浸漬ヲ為スベカラズ
ホ 被害劇甚ナル蔗園及駆除豫防上必要ト認ムル蔗園ハ株苗又ハ連作ヲ為スベカラズ

二十五 甘蔗露菌病
イ 被害甘蔗ヲ発見セバ直チニ其ノ周囲ノ健全株ト共ニ之

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

ヲ抜取リ焼棄又ハ深ク土中ニ埋没スベシ

ロ　病害ノ発生セル蔗園ノ株苗、補植、株出若ハ連作ヲ為スベカラズ

ハ　病害ノ発生セル蔗園ハ一般収穫期ニ先チ早ク之ヲ収穫スベシ

ニ　駆除上必要ト認メタル蔗園ハ収穫前立毛ノ儘蔗葉ヲ焼却スベシ

ホ　前項ノ處分ヲ為シタル蔗園ハ株苗、株出若ハ連作ヲ為スベカラズ

ヘ　被害蔗園及其ノ附近ニハ玉蜀黍及「テオシント」ノ栽培ヲ為スベカラズ

十六　柑橘象皮病

イ　石灰硫黄合剤ヲ果實ニ撒布スベシ

二十七　柑橘小實蠅

イ　袋ヲ以テ果実ヲ被フベシ

二十八　綿吹介殻蟲

イ　「ペタリヤ」瓢蟲ヲ放ツベシ

二十九　芭蕉象鼻蟲

イ　成蟲、卵、幼蟲及蛹ハ之ヲ捕殺スベシ

ロ　被害又ハ其ノ虞アル芭蕉ハ之ヲ掘起シ害蟲寄生シ又ハ寄生ノ虞アル部分ヲ焼却、埋没若ハ二硫化炭素又ハ熱湯ヲ以テ處置スベシ

三十　甘蔗簓病

イ　被害株ハ之ヲ掘取リ焼却又ハ深ク土中ニ埋没スベシ

ロ、病害劇甚ナル蔗園又ハ病害ノ発生頻繁ナル蔗園ハ株苗若ハ株出ヲ為スベカラズ

三十一、台湾飛蝗

イ、卵塊ハ掘取シテ焼却又ハ遺殺スベシ

ロ、幼蟲ハ捕蟲網ヲ用ヒテ捕殺シ又ハ遮断器ヲ用ヒテ袋ニ集メ殺スベシ

ハ、成蟲ハ其ノ飛来ノ際可成小地域ニ集團セシメ産卵後又ハ幼蟲ノ驅除ヲ行フベシ

三十二、殿様飛蝗

三十一ニ同ジ

三十三、背條士蟲蝨

三十一ニ同ジ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

三十四 稻夜盜

イ、成蟲ハ誘蛾燈若ハ糖蜜ヲ以テ誘蛾シ又ハ捕蟲網ヲ用ヒテ捕殺スベシ

ロ、心枯及白穗ハ抜キ取リ燒却スベシ

ハ、被害刈株及藁ハ燒却スベシ

三十五 稻ノ椿象類

イ、成蟲及幼蟲ハ捕殺スベシ

ロ、畦畔及附近ノ雜草ハ刈リ取リ燒却スベシ

三十六 擬蟻象鼻蟲

イ、被害塊根ハ收穫ノ際燒却又ハ水中ニ沈漬スベシ

ロ、被害甚シキ圃場ハ連作ヲ為スベカラズ

三十七、茶角盲椿象

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

イ、成蟲、幼蟲及卵ハ捕殺スベシ

三十八 瓜実蠅

イ 袋ヲ以テ果実ヲ被フベシ

ロ 「オピウス」蜂ヲ放ツベシ

三十九 稲馬鹿苗病

イ、種籾ハ消毒ヲ為スベシ

ロ、苗代跡地ハ一期間稲ノ栽培ヲ為スベカラズ

ハ 被害株ハ抜キ取リ焼却スベシ

四十 南瓜炭疽病

イ 被害果ハ深ク土中ニ埋没スルカ又ハ焼棄スベシ

ロ 石灰「ボルドー」液其ノ他ノ薬剤ヲ撒布スベシ

四十一 西瓜蒂腐病

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

西瓜炭疽病ニ同ジ

四十二 珈琲銹病

イ 被害樹ハ其ノ被害葉ヲ切リ取リ焼却シ其ノ樹木ヲ枯セシムベシ

ロ、被害樹及被害園ニハ石灰「ボルドー」液其ノ他ノ藥劑ヲ撒布スベシ

ハ 被害樹ヨリ採取シタル種子ハ之ヲ繁殖ノ用ニ供スベカラズ

四十三 ナンバンギセル

イ 地上ニ抽出シタル「ナンバンギセル」ハ開花結実セシムベカラズ

ロ、被害甚シキ蔗園ニハ數日間浸水ヲ為スベシ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

ハ、発生甚シキ農園ハ株出又ハ連作ヲ為スベカラズ

四十四　鳳梨ノ介殻虫類

イ、成虫及幼虫ハ捕殺若ハ遺殺シ又ハ薬剤ヲ用ヒテ死滅セシムベシ

ロ、被害甚ダシキ株ハ掘起シ焼却スベシ

ハ、被害株ハ繁殖ノ用ニ供スベカラズ

ニ、被害甚ダシキ圃場ハ株出又ハ連作ヲ為スベカラズ

四十五　甘藷黒斑病

イ、被害塊根及茎葉ハ焼却煮沸又ハ深ク土中ニ埋没スベシ

ロ、被害塊根及蔓ハ繁殖ノ用ニ供スベカラズ

ハ、被害圃場ヨリ採リタル種藷又ハ苗蔓ハ之ヲ消毒スベシ

ニ、被害甚シキ圃場及駆除予防上必要ト認ムル圃場ハ消毒

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

ヲ為シ又連作ヲ為スベカラズ

臺灣農業試驗所
圖書室
動物系

Taiwan
103

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895